

消防本部からのお知らせ

林野火災を防ごう！

例年、冬から春にかけて林野火災が発生しやすい時期となります。冬は下草が枯れ、落葉が積もって「燃えやすいもの」が蓄積されることも、風が強く乾燥状態が続くこと、また、山菜採りなどのために入山する人が多くなることなどが原因とされています。

林野火災は、市街地での火災とは異なり、いったん発生すると、消防水利の不足や道路状況などの地理的、地形的な条件から消防活動が非常に困難なため、焼損面積が広範囲に及び危険性が高くなります。

林野火災の出火原因としては、全国で1299件あるうち「たき火」によるものが416件で全体の約32%を占め最も多く、次いで火入れが247件で全体の約19%、放火(放火の疑いを含む)が98件で全体の約8%の順となっています。(令和6年版消防白書より)



火災・救急・救助は119番

「守りたい 未来があるから 火の用心」

森林は、地球温暖化の主な原因である二酸化炭素を吸収し、生命に必要な酸素を供給する貴重な資源であり、一度焼失してしまつと、その回復には長い年月と多くの労力を要することになります。貴重な人命や財産を火災から守るため、林野での火気の取り扱いには十分気を付けましょう。

野焼きについて

ごみを燃やすと火災発生の原因となるばかりでなく、煙や臭いがつくなど近所迷惑になることがありますので、野外での焼却はやめましょう。

○例外的に焼却が認められているもの(ホームページの一部抜粋)

- ・災害の予防、応急対策又は復旧のために必要な燃焼行為
- ・たき火その他日常生活を営む上で通行行われる燃焼行為であつて軽微な焼却(軽微な焼却とはその煙によつて近所に迷惑のかからない程度の焼却のこと)

たき火を実施する場合は紀美野町のホームページに掲載している様式で提出していただくか、前もつて電話でご連絡いただくようお願いいたします。また

実施する場合は、消火用の水を準備していたいただき、乾燥注意報、強風注意報等が出ている場合は実施を控えていただくよう、よろしくお願いします。詳細については紀美野町ホームページの「野焼きについて」をご覧ください。

救急コーナー「止血法」

体内から血液の20%以上が急速に失われると出血性ショックとなります。また30%を超えると死に至る可能性が高くなります。そのため、止血の方法を知っておくことは応急手当の中でも重要です。

止血の基本は直接圧迫止血法です。傷口を覆う大きさの清潔な厚みのあるガーゼやタオルを傷口に当て、その上から手でしっかりと圧迫します。出血している部位と圧迫する部位がずれないようにしっかりと押さえましょう。ガーゼやタオルに血液がにじんでくる場合は、圧迫する部位がずれていないか確認してください。

また、感染を防ぐためにゴム手袋を着用してください。なければ、ナイロン袋を使用して血液に直接触れないようにしてください。



次回の普通救命講習・再講習は

5月4日(日)です

定員の日を改めて実施することもあります。職場、学校、自治会等団体での申し込みは、随時受け付けています。

■申込期限 4月21日(月)

■問い合わせ・申し込み

紀美野町消防本部 警防課

TEL 489-6302

2月の消防の動き

●火災発生件数…0件

【事故種別搬送人員】

	管内	管外	合計
急病	34(1)	0(0)	34(1)
一般負傷	5(0)	0(0)	5(0)
交通事故	3(0)	0(0)	3(0)
その他	3(0)	0(0)	3(0)
合計	45(1)	0(0)	45(1)

※()内については、ドクターヘリ搬送